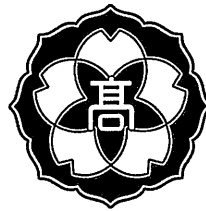


令和 3 (2021) 年度

# 年間指導計画

～ 指導と評価の計画～



神奈川県立横浜平沼高等学校全日制普通科

〒220-0073 神奈川県横浜市西区岡野1丁目5番8号

TEL 045-313-9200 (代表) FAX 045-311-0519

# 目次

- 1 各教科の「評価の観点」一覧 . . . . P. 1
- 2 教育課程表 . . . . P. 2
- 3 各学年の科目のページ

第1学年の科目	P.	第2学年の科目	P.	第3学年の科目	P.
①国語		①国語		①国語	
国語総合	3	現代文B	2 5	現代文B	5 0
②地理歴史・公民		古典A	2 6	総合古典	5 1
世界史B	5	古典B	2 7	現代文研究	5 2
③数学		②地理歴史・公民		古典研究	5 3
数学I	6	日本史A	2 8	②地理歴史・公民	
数学A	7	日本史B	2 9	世界史研究	5 4
④理科		③数学		日本史研究	5 5
化学基礎	8	数学Ⅱ(α型)	3 0	地理B	5 6
生物基礎	9	数学Ⅱ(β型)	3 1	※世界近現代史特論	
⑤保健体育		数学B	3 2	※日本近現代史特論	
体育	1 0	④理科		現代社会	5 7
保健	1 1	物理基礎	3 3	政治・経済	5 8
⑥芸術		化学	3 4	③数学	
音楽I	1 2	⑤保健体育		数学Ⅲ	5 9
美術I	1 3	体育	3 5	一般数学	6 0
書道I	1 4	保健	3 6	応用数学	6 1
⑦外国語(英語)		⑥芸術		実践数学I・A	6 2
コミュニケーション英語I	1 5	音楽Ⅱ	3 7	④理科	
英語表現I	2 0	美術Ⅱ	3 8	物理	6 3
⑧総合的な探究の時間	2 4	書道Ⅱ	3 9	生物	6 4
		⑦外国語(英語)		応用化学	6 5
		コミュニケーション英語Ⅱ	4 0	生物研究	6 6
		英語表現Ⅱ	4 5	⑤保健体育	
		⑧家庭		体育	6 7
		家庭基礎	4 8	⑥外国語(英語)	
		⑨総合的な探究の時間	4 9	コミュニケーション英語Ⅲ	6 8
				英語表現Ⅱ	7 3
				リーディング・スキルズ	8 0
				⑦情報	
				社会と情報	9 0
				⑧音楽(専)	
				ソルフェージュ音楽理論	9 1
				⑨美術(専)	
				美術概論	9 2
				素描	9 3
				⑩家庭(専)	
				フードデザイン	9 4
				⑩総合的な学習の時間	9 5
				※世界史近現代特論、日本近現代史特論は117期生以降、開講されません。	

# 1 各教科の「評価の観点」一覧

<p><b>国語</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 話す・聞く能力</p> <p>c : 書く能力</p> <p>d : 読む能力</p> <p>e : 知識・理解</p>	<p><b>地理歴史・公民</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 資料活用の技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>数学</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 数学的な見方や考え方</p> <p>c : 数学的な技能</p> <p>d : 知識・理解</p>
<p><b>理科</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 観察・実験の技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>保健体育</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断</p> <p>c : 運動の技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>芸術（音楽）</b></p> <p>a : 音楽への関心・意欲・態度</p> <p>b : 音楽表現の創意工夫</p> <p>c : 音楽表現の技能</p> <p>d : 鑑賞の能力</p>
<p><b>芸術（美術）</b></p> <p>a : 美術への関心・意欲・態度</p> <p>b : 発想や構想の能力</p> <p>c : 創造的な技能</p> <p>d : 鑑賞の能力</p>	<p><b>芸術（書道）</b></p> <p>a : 書への関心・意欲・態度</p> <p>b : 書表現の構想と工夫</p> <p>c : 創造的な書表現の技能</p> <p>d : 鑑賞の能力</p>	<p><b>外国語（英語）</b></p> <p>a : コミュニケーションへの関心・意欲・態度</p> <p>b : 外国語表現の能力</p> <p>c : 外国語理解の能力</p> <p>d : 言語や文化についての知識・理解</p>
<p><b>家庭</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>情報</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 技能</p> <p>d : 知識・理解</p>	<p><b>総合的な学習の時間</b></p> <p>a : 関心・意欲・態度</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 技能</p> <p>d : 知識・理解</p> <p><b>総合的な探究の時間</b></p> <p>a : 知識・技能</p> <p>b : 思考・判断・表現</p> <p>c : 主体的に取り組む態度</p>

◎各科目の「評価の方法」の詳しい内容や重み付けについては、授業の中で各担当者が説明します。

◎各科目の「評価の観点」は、必ずしも上記のものとは限りません。

(2) 令和3(2021)年度入学生教育課程表

※選択科目については変更になる場合があります。

教科	科目	標準単位数	1年次	α型(文系)			β型(理系)			
				2年次	3年次		2年次	3年次		
					必修	選択		必修	選択	
国語	国語総合	4	4							
	国語表現	3				②			②	
	現代文B	4		2	2		2	2		
	古典A	2					2			
	古典B	4		4						
	総合古典	※							③	
地理歴史	現代文研究	※				②			②	
	古典研究	※				②			②	
	世界史B	4	4							
	日本史A	2					2			
	日本史B	4		4						
	地理B	4							③	
公民	世界史研究	※				④			④	
	日本史研究	※				④			④	
	現代社会	2			2			2		
	倫理	2							③	
	政治	2							③	
	経済	2							③	
数学	数学I	3	3							
	数学II	4		3			4			
	数学III	5				⑤			⑤	
	数学A	2	2							
	数学B	2		②		②	2			
	一般数学	※				③			③	
	応用数学	※				③			③	
理科	実践数学I・A	※				②			②	
	物理基礎	2		2			2			
	化学基礎	4	2			④			④	
	生物基礎	4	2				3			
	生物	4								
	物理研究	※				④			④	
	化学研究	※				②			②	
	生物研究	※				③			③	
体育	化学研究	※				②			②	
	生物研究	※				②			②	
	体育	7~8	3	2	2		2	2		
	保健	2	1	1			1			
	音楽I	2	②							
	美術I	2	②							
芸術	音楽II	2	②	②						
	美術II	2	②	②						
	書道I	2	②	②						
	書道II	2	②	②						
	書道III	2							②	
	英語I	3	3							
外国語	英語II	4		4			4			
	英語III	4			3			3		
	英語表現I	2	2							
	英語表現II	4		2	2		2	2		
	実用英語	※				②			②	
	リーディングスキルズ	※				②			②	
家庭情報	家庭基礎	2		2			2			
	社会と情報	2			2			2		
(専)家庭	服飾文化	2~4				②			②	
	フードデザイン	2~6				②			②	
(専)体育	スポーツII	2~13				②		②		
(専)音楽	音楽理論	2~6				②			②	
	ソルフェージュ	2~9				④			④	
(専)美術	美術概論	2~4				③			③	
	素描	2~6				③			③	
*学校外活動	ボランティア活動	※	①	①		①	①		①	
総合的な探究の時間		3~6	1	1	1		1	1		
計			29	29	14	6~14	29	14	6~14	
ホームルーム活動			1	1	1		1	1		
総計			30	30		21~29	30		21~29	
備考			]は選択肢を示す。○印の数字は選択科目の単位数を示す。*印は学校設定教科・学校設定科目を示す。ボランティア活動は3年間を通じて1単位まで認定する。ただし卒業単位に含めない。1コマの授業時間は55分。							

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	国語・国語総合	学年	第1学年	教科書	大修館「精選 国語総合 新訂版」
		単位数	4単位	副教材	筑摩書房「語彙力をつける 入試漢字2600」 第一学習社「古文解釈のための総合力を養う完全マスター古典文法」 第一学習社「完全マスター古典文法準拠ノート<基礎固め>」 大修館「トータルサポート新国語便覧」

**学習目標**  
 (科目目標) 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てることが「国語総合」の目標である。

**学習方法**  
 ○論理的な文章については論理の展開や要旨を的確にとらえ、文学的な文章については、人物・情景・心情などを的確にとらえるとともに表現を味わいましょう。  
 ○授業では「トータルサポート新国語便覧」などを利用し、文学史や古典常識などの知識を深めましょう。  
 ○学習を効果的に進めるために、教材を予習、復習することを心がけましょう。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
b	話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする力を身に付けている。
c	書く能力	自分の考えを深めたり発展させたりして、目的や相手に応じて、筋道を立てて適切な文章を書くことができる。
d	読む能力	様々な文章を的確に読み取る力を身に付けており、ものの見方、考え方が豊かである。
e	知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し知識を身に付けている。

学期	時間数	指導事項	単元の評価規準	評価方法	主な学習活動	単元(題材)
前期	10	書くこと ア相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	a各種の文章を主体的に読み、積極的に取り組む姿勢を身に付けている。 e与えられた課題に即して思考を深めスピーチや作文、小論文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。 e比喩表現や情景描写、慣用語の使い方などを理解する力を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	表現に注意して評論を読み、本文の内容を的確に理解する。	近現代の文章(評論)
	6	読むこと ウ文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	a各種の文章を主体的に読み、積極的に取り組む姿勢を身に付けている。 d場面展開や文章の構造を的確にとらえ、内容を正確に掴んで、提起された問題について理解する力を身に付けている。 e比喩表現や情景描写、慣用語の使い方などを理解する力を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	小説に描かれた登場人物の感じ方や生き方などを、話の展開に注意して読み取る。	近現代の文章(小説)
	4	読むこと ア文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	a各種の文章を主体的に読み、積極的に取り組む姿勢を身に付けている。 d場面展開や文章の構造を的確にとらえ、内容を正確に掴んで、提起された問題について理解する力を身に付けている。 e比喩表現や情景描写、慣用語の使い方などを理解する力を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	筆者のものの見方や感じ方、表現の特色に注意して随想(随筆・エッセー)を読む。	近現代の文章(随想)
	2	話すこと・聞くこと ウ課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進捗の仕方などを工夫して話し合うこと。	a各種の文章を主体的に読み、積極的に取り組む姿勢を身に付けている。 e与えられた課題に即して思考を深めスピーチや作文、小論文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。 e比喩表現や情景描写、慣用語の使い方などを理解する力を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	合意形成に向けて話し合いを行う。	近現代の文章(言語活動)
	5	読むこと ア文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	a古文に親しみを持ち、古文学習の基本的な姿勢を身に付けている。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握する力を身に付けている。 e文学史的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語のきまりを理解する。 説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。	古文(説話)
	5	読むこと ア文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	a説話・随筆・物語を読むことに興味・関心を持つことができる。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握する力を身に付けている。 e文法の基礎知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	作者の考えを叙述に即して的確に読み取り、それについて話し合う。	古文(随筆)
	8	読むこと ア文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	a古文に親しみを持ち、古文学習の基本的な姿勢を身に付けている。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握する力を身に付けている。 e文学史的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	歌物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 想像力をはたらかせながら、歌物語の世界を読み味わう。	古文(歌物語)
	7	読むこと エ文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	a説話・随筆・物語を読むことに興味・関心を持つことができる。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握している。 e文法の基礎知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	文章に現れた古語と現代語の表記や意味の違いについて調べる。 古語で書かれた文章の内容を読み取る。	古文(物語)
	5	読むこと ア文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	a詩や文章を読むことに興味・関心を持つことができる。 dそれぞれの詩に描かれた状況や作者の心情などを理解する力を身に付けている。 e句法について理解する力を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	訓読のきまりを理解し、文章の内容を的確に読み取る。	漢文(入門)
	5	読むこと イ文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	a詩や文章を読むことに興味・関心を持つことができる。 d長文においては、各段落の内容を整理するとともに、論の展開を理解する力を身に付けている。 e文学史的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。	漢文(故事)

	7	読むこと ウ文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	a詩や文章を読むことに興味・関心を持つことができる。 b長文においては、各段落の内容を整理するとともに、論の展開を理解する力を身に付けている。 c文学史的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	史話に描かれた情景や人物の心情などを、表現に即して読み味わう。	漢文(史伝)	
	10	書くこと ウ対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	a内容について自分なりの意見を持ち、社会的な問題に対し広く目を向けていくことを身に付けている。 b与えられた課題に即して考察を深めスピーチや作文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。 c筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について深い考察をめぐらすことができる。また、近代の文学作品を主体的に読解し、より深く鑑賞する力と知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	小説に描かれた登場人物・情景・心情などを、表現に即して読み取る。	近現代の文章(小説)	
	4	話すこと・聞くこと エ話したり聞いたり話し合ったことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	a内容について自分なりの意見を持ち、社会的な問題に対し広く目を向けていく力を身に付けている。 b与えられた課題に即して考察を深めスピーチや作文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。 c筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について深い考察をめぐらすことができる。また、近代の文学作品を主体的に読解し、より深く鑑賞する力と知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	形式やリズム、表現方法に注意して読む。 詩歌に親しみ、描かれた世界を読み味わう。	近現代の文章(詩歌)	
	6	読むこと オ幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	a内容について自分なりの意見を持ち、社会的な問題に対し広く目を向けていく力を身に付けている。 b文章の論理展開を的確に把握し理解する力を身に付けている。 c筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について深い考察をめぐらすことができる。また、近代の文学作品を主体的に読解し、より深く鑑賞する力と知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	評論に述べられた内容を的確に理解し、筆者の考え方を読み取る。	近現代の文章(評論)	
	2	話すこと・聞くこと エ話したり聞いたり話し合ったことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	a内容について自分なりの意見を持ち、社会的な問題に対し広く目を向けていく力を身に付けている。 b与えられた課題に即して考察を深めスピーチや作文等の表現活動において、適切に表現する力を身に付けている。 c筆者の主張とその論拠の関係を的確につかみ、社会の構造と本質について深い考察をめぐらすことができる。また、近代の文学作品を主体的に読解し、より深く鑑賞する力と知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	合意形成に向けて話し合いを行う。	近現代の文章(言語活動)	
後期	5	読むこと イ文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	a古文に親しみをもち、古文学習の基本的な姿勢を身に付けている。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握している。 c文学史的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	表現の特色に注意して和歌を読む。 和歌に表れたもの見方、感じ方に触れる。	古文(和歌)	
	7	読むこと ウ文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	a説話・随筆・物語を読むことに興味・関心を持つことができる。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握している。 c文法の基礎知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	作品に表れた作者の考えを踏まえて、もの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	古文(日記文学)	
	8	読むこと オ幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	a古文に親しみをもち、古文学習の基本的な姿勢を身に付けている。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握している。 c文学史的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	作品に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 表現の特色に注意して作品を読み味わう。	古文(軍記物語)	
	7	読むこと ウ文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	a説話・随筆・物語を読むことに興味・関心を持つことができる。 b作品の内容を的確に理解し、作者のものの感じ方・考え方を把握している。 c文法の基礎知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	文章の内容や表現上の工夫を確認し、書き手の意図を捉える。 自分の考えを深めるために話し合う。	古文(俳諧紀行)	
	5	読むこと ウ文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	a詩や文章を読むことに興味・関心を持つことができる。 bそれぞれの詩に描かれた状況や作者の心情などを理解する力を身に付けている。 c近体詩の決まりや表現技法を理解する力を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	漢詩のきまりと表現の特色について学び、唐詩の世界に親しむ。	漢文(唐詩)	
	5	読むこと エ文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	a詩や文章を読むことに興味・関心を持つことができる。 b長文においては、各段落の内容を整理するとともに、論の展開を理解する力を身に付けている。 c句法について理解する力を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	古代中国の思想について理解を深め、もの見方、考え方を豊かにする。	漢文(思想)	
	5	読むこと エ文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	a詩や文章を読むことに興味・関心を持つことができる。 b長文においては、各段落の内容を整理するとともに、論の展開を理解する力を身に付けている。 c文学史的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期テスト 課題プリント	話の構成や展開を確かめ、作品の内容や表現の仕方について理解する。 登場人物の言動から、作品に込められた意図について考える。	漢文(文章)	
	「話すこと・聞くこと」 18時間、「書くこと」 35時間、「読むこと」 75時間、合計 128時間(国語総合)						

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・世界史B	学年	第1学年	教科書	帝国書院「新詳 世界史B」 帝国書院「地歴高等地図-現代世界とその歴史的背景-」
		単位数	4単位	副教材	帝国書院「最新世界史図説タペストリー十九訂版」 帝国書院「新詳世界史Bノート」

**学習目標**

- 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
- 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

**学習方法**

- 授業における課題に対して自ら考え、また、資料を活用することでデータを読み取って考察する活動を行います。
- 家庭学習においては世界史B専用の問題集を利用します。
- 夏季休暇の際にはレポート課題を提出します。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を備えている。
b	思考・判断・表現	世界の文化の多様性と現代世界の特質を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断するとともに、考察した過程や結果を適切に表現することができる。	
c	資料活用の技能	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめるなど活用することができる。	
d	知識・理解	世界の歴史についての基本的な事象を、地理的条件や我が国の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	古代～中世	17	先史・オリエントと地中海世界	メソポタミア文明・エジプト文明・ギリシア世界	○		○		a:オリエント・地中海両世界とそれをまとめあげたヘレニズムおよびローマについて関心をもち、追究している。 b:オリエント世界と地中海世界の風土・社会・政治・文化・宗教について比較し、その共通点と相違点を示すことができる。 c:地図などの各種資料を活用して、各地域における特色と相違点を把握できる。 d:オリエント・地中海・インダス文明の特色を理解している。	授業への取り組み、発言内容、プリントへの取り組み、定期試験、課題レポート等をふまえ、総合的に評価する。
				ローマ帝国	○	○	○			
		16	南アジア・東南アジアの世界	インダス文明	○		○			
				東南アジア諸国の興亡	○		○			
		15	東アジア世界と中央ユーラシア世界	殷～唐の世界	○	○	○			
				遊牧国家	○	○	○			
		16	イスラーム世界の形成と拡大	イスラーム世界の成立	○	○	○			
				イスラーム世界の拡大	○	○	○			
後期	中世～近代	15	ヨーロッパ世界の形成と発展	東ヨーロッパ世界			○		a:キリスト教を共有するヨーロッパ世界が、東西の地域性を保ちながら変動した過程に関心を高めている。 b:ヨーロッパ世界変動の過程を多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:地図を用いて、モンゴルの活動によってユーラシア大陸の内陸交易と海上交易が一体化したことを指摘できる。 d:モンゴルによりユーラシア大陸が一体化したことで、ユーラシア規模で人の交流やものの流通が起こったこと、および14世紀の危機を理解している。	授業への取り組み、発言内容、プリントへの取り組み、定期試験、課題レポート等をふまえ、総合的に評価する。
				西ヨーロッパ世界とルネサンス	○	○	○			
		16	モンゴル帝国の出現とアジア諸地域の繁栄	モンゴル帝国	○		○			
				オスマン帝国・ムガル帝国・明朝・清朝	○		○			
		17	近代ヨーロッパの成立・ヨーロッパ主権国家体制の展開	大航海時代	○	○				
				絶対王政と啓蒙思想	○		○			
		16	欧米における近代社会の成長・近代国民国家の発展	産業革命と各国の独立革命	○	○				
				ナポレオン、アメリカ南北戦争	○		○	○		
合計時数(55分授業)		128								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・数学 I	学年	第1学年	教科書	数研出版「改訂版 数学 I」
		単位数	3単位	副教材	数研出版「サクシード 数学 I + A」

**学習目標**  
 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識するとともに、それらを活用して考える力を身に付ける。

**学習方法**  
 ○教科書に沿って解説、演習を行い基礎力徹底、応用力向上を図る。  
 ○予習復習をこまめに行い、授業内容を理解することにつとめる。  
 ○自主的に問題集を活用し、授業で学習した内容を確認し積極的に問題に取り組む。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
c	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
d	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法		
					a	b	c	d				
前期	数と式	22	式の計算	整式					a: 整式の計算においても、法則が成り立つことに気づき、整式の展開などに活用しようとする。 c: 1つの文字に着目して式を整理することができる。 d: 式の見方について理解している。	授業への 取り組み 定期試験 レポート 課題等		
				整式の加法と減法、乗法	○		○					
				因数分解								
			実数	実数				○			○	c: 循環小数を有理数の形で表すことができる。 d: 循環小数の表し方について理解している。
				根号を含む式の計算								
				1次不等式		○	○					
1次不等式の利用												
集合と命題	6	集合と命題	集合					a: 集合の包含関係と命題を関連付けて捉え、それらを命題の考察に活用しようとしている。 b: ベン図などを用いて事象を整理しそれらを多面的・統合的に見たり、事象を命題として表現し考察したりすることができる。 d: 集合に関する基本的な用語・記号や命題と集合との関係付けを理解している。				
			命題と条件	○	○							
			命題と証明									
2次関数	20	2次関数とグラフ	関数とグラフ					b: 2次関数の最大最小の求め方を考察することができる。 c: グラフをかき、値域や最大最小を求めることができる。 d: 関数の概念について理解している。				
			2次関数のグラフ			○	○					
			2次関数の最大と最小									
			2次関数の決定									
後期	データの分析	11	データの整理と分析	2次方程式				a: 2次方程式の解法に関心を持ち、いろいろな方法で解いてみようとする。 b: 解の公式の導き方を考察することができる。 c: 適当な手段によって2次方程式を解くことができる。				
				グラフと2次方程式	○	○	○					
				グラフと2次不等式								
後期	図形と計量	30	三角比	三角比				a: 三角比に関心を持ち、図形の計量に活用しようとする。 d: 三角比の定義を理解している。				
				三角比の相互関係	○							
				三角比の拡張								
			三角形への応用	正弦定理					b: 正弦定理余弦定理を導く過程を考察することができる。 c: 正弦定理余弦定理を利用して辺や角を求めることができる。			
				余弦定理								
				正弦定理と余弦定理の応用	○	○						
データの分析	11	データの整理と分析	データの整理				a: 散布図や相関表に関心を持ち、調べようとする。 c: 平均値中央値四分位範囲を求めることができる。 d: 平均値中央値四分位範囲の意味を理解している。					
			データの代表値									
			データの散らばりと四分位範囲	○		○						
			分散と標準偏差									
				データの相関								
合計時数(55分授業)		96										



令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	数学・数学A	学年	第1学年	教科書	数研出版「改訂版 数学A」
		単位数	2単位	副教材	数研出版「サクシード 数学I+A」

**学習目標**  
 場合の数と確率、図形の性質について理解を深め、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用できるようにする。

**学習方法**  
 ○教科書に沿って解説、演習を行い基礎力徹底、応用力向上を図る。  
 ○授業は週に2回と少ないので、予習復習をこまめに行い、授業内容を理解することにつとめる。  
 ○自主的に問題集を活用し、授業で学習した内容を確認し積極的に問題に取り組む。

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
c	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

※ 定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前期	場合の数と確率	14	場合の数	集合の要素の個数			○	○	a:集合や順列・組合せに関心を持ち、それらに関する性質を調べようとする。 b:集合や順列・組合せについて、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:事象を集合や順列・組合せを用いた表現をし、処理する技能を身に付けている。 d:集合や順列・組合せにおける基本的な用語や記号の意味を理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等	
				場合の数	○			○			
				順列				○			
				円順列・重複順列				○			
				組合せ	○	○					
	確率	12	確率	事象と確率	○			○	a:事象の確率に関心を持ち、それらに関する性質を調べようとする。 b:事象の確率について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:試行や事象に関して確率を表現し、処理する技能を身に付けている。 d:確率における基本的な用語や記号の意味を理解している。		
				確率の基本性質				○			
				独立な試行の確率	○	○					
				反復試行の確率	○	○					
				条件付き確率	○	○					
後期	図形の性質	6	平面図形	三角系の辺の比				○	a:平面図形や空間図形に関心を持ち、それらに関する性質を調べようとする。 b:平面図形や空間図形について、さまざまな場面に適用して考察することができる。 c:平面図形や空間図形について、図形の計量や証明等により表現・処理する技能を身に付けている。 d:平面図形や空間図形における基本的な用語や記号の意味を理解している。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等	
				三角形の外心、内心、重心				○			
				チェバの定理とメネラウスの定理	○			○			
				円に内接する四角形	○			○			
				円と直線	○			○			
				方べきの定理		○	○				
				2つの円の位置関係	○	○					
				作図	○			○			
	空間図形	6	空間図形	直線と平面	○			○			
				多面体	○	○					
後期	約数と倍数	6	約数と倍数	約数と倍数				○	a:約数や倍数に関心をもつとともに、それを整数の性質の考察に活用しようとする。 b:素因数分解から約数の個数や最大公約数・最小公倍数の仕組みに気づくことができる。 c:素因数分解から約数の個数や最大公約数・最小公倍数を求めることができる。 d:約数の個数や最大公約数や最小公倍数を求める方法を理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業への取り組み 定期試験 レポート 課題等	
				最大公約数と最小公倍数	○	○					
				整数の割り算と商および余り				○			
	整数の性質	6	ユークリッドの互除法と不定方程式	ユークリッドの互除法		○	○	○			a:二元一次方程式の特殊解を求めようとする。 b:ユークリッドの互除法の仕組みに気づき、一次方程式の特殊解を求める際に、活用できることに気づく。 c:ユークリッドの互除法を用いて最大公約数を求めることができる。二元一次方程式の整数解を求めることができる。 d:ユークリッドの互除法を活用する知識を身に付けている。
				1次不定方程式	○	○					
				分数と小数	○	○					
整数の性質の活用	4	整数の性質の活用	分数と小数	○	○			a: n進法の仕組みや、分数が様々な小数で表される仕組みに関心を持ち、活用しようとする。 b: n進法の表示と数の計算について考察することができる。 c: 数を表す仕組みを理解し、n進法での表示や数の計算ができる。 d: n進法の表示や数の計算に関する知識を身に付けている。			
			n進法	○	○						
合計時数(55分授業)		64									

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	理科・化学基礎	学年	第1学年	教科書	数研出版「改訂版 化学基礎」
		単位数	2単位	副教材	数研出版「五訂版 リードα化学基礎」

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力を育むとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養うことを目標とします。				
学習方法	○授業では化学のノートを用意し、板書と問題演習に利用します。そのほか問題演習専用のノートも使います。 ○演示実験や生徒実験を通して実験の基本操作を習得し、データの処理の仕方を身に付けましょう。 ○問題演習を数多く解き、計算問題などの解答能力を習得しましょう。				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。		
	b	思考・判断・表現	物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		
	c	観察・実験の技能	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。		
	d	知識・理解	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法			
					a	b	c	d					
前期	物質の構成と化学結合	8	物質の構成	混合物と純物質	○		○	○	a:物質の構造や性質に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 b:混合物の分離や成分元素の確認などの実験の原理を考察できる。 c:観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d:物質の構造や性質に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート			
				物質の三態	○	○		○					
		8	物質の構成粒子	原子とその構造	○			○					
				イオン	○			○					
16	粒子の結合		イオン結合とイオンからなる物質	○	○	○	○	a:物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとしている。 b:物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとしている。 c:観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d:電子配置の安定性を理解し、化学結合に関する知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート				
			分子と共有結合	○	○		○						
			共有結合の物質	○	○		○						
			金属結合と金属	○	○		○						
後期	物質の変化	8	物質質量と化学反応式	原子量・分子量・式量と物質質量	○	○		○	a:化学変化や酸塩基の中和反応に関心をもち、意欲的に変化を探究しようとしている。 b:化学変化では、一定の量的関係を物質質量と関連付け考察することができる。 c:観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d:物質質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート			
				化学反応式と物質質量	○	○	○	○					
		12	酸と塩基の反応	酸・塩基と水溶液のpH	○			○					
				中和反応と塩	○			○					
		12	酸化還元反応		酸化と還元	○					○	a:酸化還元反応に関心をもち、日常と関連付けながら意欲的に探究しようとしている。 b:酸化還元反応の概念と化学変化の量的関係を理解している。 c:観察や実験の過程から、自らの考え方を導き出した報告書を作成することができる。 d:物質質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。	授業への取り組み 小テスト 定期テスト 実験レポート
					酸化還元反応	○	○				○		
					金属の酸化還元反応	○					○		
					酸化還元反応の応用	○					○		
合計時数(55分授業)		64											

# 令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	理科・生物基礎	学年	第1学年	教科書	実教出版「生物基礎 新訂版」
		単位数	2単位	副教材	東京書籍「改定版NEW GLOBAL 生物基礎」 数研出版「三訂版フォトサイエンス生物図録」

**学習目標**  
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を養い、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付けることを、目標とします。

**学習方法**  
○ 授業における課題に対して自ら考える活動を行います。  
○ 授業においては実験実習を行い、レポートを作成し提出してもらいます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
b	思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	
c	観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	
d	知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	生物と遺伝子	16	生物の特徴	生物の多様性と共通性	○	○			a:生物の共通祖先や代謝・呼吸・光合成について関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。 b:現生生物の特徴から、生物の共通祖先のモデルを理論的に推定する。 c:顕微鏡の扱い方、観察材料に応じたプレパラートの作成法を習得している。 d:すべての生物は共通した特徴をもつことや代謝・呼吸・光合成について理解する。	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み
				細胞とエネルギー	○		○			
		16	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA	○	○			a:遺伝子研究の歴史やDNAに興味を示し、意欲的に学習しようとする。 b:遺伝子研究の歴史から、実験結果からどのような事実がわかったのかを理解する。 c:押しつぶし法によってプレパラートを作成できるようになる。 d:DNAの二重らせん構造の特徴や複製、タンパク質合成について理解している。	
				遺伝情報の分配	○		○			
				遺伝情報とタンパク質の合成	○	○				
		16	生物の体内環境とその維持	生物の体内環境	体内環境	○			○	
体内環境維持の仕組み	○				○					
免疫	○				○					
後期	生物の多様性と生態系	8	植生の多様性と分布	植生と遷移	○	○			a:陸上の生物集団の成り立ちに関心を持ち、バイオームについて理解しようとする。 b:陸上のバイオームは、そこに生育する植物に依存して成り立つことを科学的に理解する。 c:複数の試料について測定を行い、信頼性の高い数値を得ることができる。 d:バイオームの概念を理解している。	・単元テスト ・レポート ・授業への取り組み
				気候とバイオーム	○		○			
		8	生態系とその保全	生態系と物質循環	○			○	a:生態系の成り立ちやその保全について関心を持ち、意欲的に理解しようとする。 b:食物網において、上位にある生物がいなくなった場合にどのような影響が生じるかなど、生態系のバランスについて科学的に理解する。 c:情報機器などを利用して、信頼のできる情報を得ることができる。 d:生態系の構造やその保全について理解している。	
				人間活動と生態系の保全	○	○				
合計時数(55分授業)		64								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	保健体育・体育	学年	第1学年	教科書	
		単位数	3単位	副教材	大修館書店「アクティブスポーツ2021(総合版)」

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら希望する種目を選択し、楽しみながら学ぶ喜びを知ることができるようにする。</li> <li>・基礎体力を向上できるようにする。</li> <li>・基本的技能を修得できるようにする。</li> <li>・試合の進め方、方法、ルールを理解できるようにする。</li> </ul>
------	--

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業における課題に対して自ら考えられるような活動を行う。</li> <li>○学習ノート、補助プリント等を利用する。</li> <li>○互いに協力し、自己の責任を果たせるようグループでの活動を行う。</li> </ul>
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
b	思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	
c	運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	
d	知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	体づくり運動(全員)	3	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・トレーニング</li> </ul>	○	○			a: 仲間と協力し、積極的に運動に参加している。 b: 自分の体力を把握し、適切な目標を設定できる。 d: 体づくりの意義を理解している。	・授業への取り組み
	球技・武道(全種目男女)	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドボール</li> <li>・バレーボール</li> <li>・柔道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・ゲーム(試合)</li> </ul>	○	○	○		球技 a: ルールを守り、公正な態度で練習や試合を行っている。 b: ゲームに必要なルールや審判法を知っている。 c: 基本的な技術を向上させることができる。 d: 基本的な技術を実践で生かせる。 武道 a: 積極的に技を覚えている。 b: 自己の能力に応じて練習を工夫できる。 d: 武道に対する伝統的な考え方を理解している。	・授業への取り組み ・記録 ・試験
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳</li> <li>・器械運動</li> <li>・陸上競技</li> <li>・ダンス</li> </ul> (全種目男女)	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳</li> <li>・器械運動</li> <li>・陸上競技</li> <li>・ダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・記録測定(発表)</li> </ul>	○	○	○		水泳 a: 記録の向上の喜びや競泳の楽しさなどを味わっている。 b: 自己の目標を達成するための練習を計画している。 器械運動 b: 自己に合った技を選択している。 c: 技の習得し、演技の構成をすることができる。 陸上競技 c: 自己の記録を向上するための各種の技能を高めることができる。 d: 自己の記録を向上するための方法を理解している。 ダンス a: 曲に合わせて、楽しく取り組んでいる。 b: 自己の能力に応じた課題を選び、自ら考え工夫することができる。	
球技・武道(全種目男女)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトボール</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・剣道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・ゲーム(試合)</li> </ul>	○	○	○		球技 a: ルールを守り、公正な態度で練習や試合を行っている。 b: ゲームに必要なルールや審判法を知っている。 c: 基本的な技術を向上させることができる。 d: 基本的な技術を実践で生かせる。 武道 a: 積極的に技を覚えている。 b: 自己の能力に応じて練習を工夫できる。 d: 武道に対する伝統的な考え方を理解している。		
後期	球技(全種目男女)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー</li> <li>・テニス</li> <li>・バドミントン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・基礎練習</li> <li>・応用練習</li> <li>・ゲーム(試合)</li> </ul>	○	○	○		a: ルールを守り、公正な態度で練習や試合を行っている。 b: ゲームに必要なルールや審判法を知っている。 c: 基本的な技術を向上させることができる。 d: 基本的な技術を実践で生かせる。	
	陸上競技(全員)	12	持久走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操</li> <li>・ジョギング</li> <li>・タイム測定</li> </ul>	○	○	○		a: 持久走の必要性を理解し、積極的に取り組んでいる。 b: 体に負担の少ない走り方を考えている。 c: 自己のベスト記録を更新することができる。 d: 自己の能力を判断し、適切な目標タイムを設定できる。	・授業への取り組み ・記録
	体育理論	6	体育理論	運動・スポーツの文化的特徴	○	○			a: 運動・スポーツの文化的特徴について理解し、諸問題について学ぼうとしている。 b: 運動・スポーツの文化的特徴の問題点を考えている。 d: 運動・スポーツの文化的特徴の問題点について理解している。	・授業への取り組み ・レポート
合計時数(55分授業)		96								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	保健体育・保健	学年	第1学年	教科書	大修館書店「現代高等保健体育 改訂版」
		単位数	1単位	副教材	大修館書店「図説現代高等保健」

学習目標	健康を保持増進するために適切な生活行動を選択し実践できるようにする。 また、環境を改善していく能力を身に付けられるようにする。
------	--

学習方法	○授業における課題に対して自ら考えられるような活動を行う。 ○ノート、補助プリント等を利用する。 ○テーマに沿ったレポートを作成し、発表する。
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	私たちの健康について、関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。
	b	思考・判断	私たちの健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。
	d	知識・理解	私たちの健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

※定期試験に関しては、上記3つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法				
					a	b	d						
前期		5	健康の考え方	国民の健康水準と疾病構造の変化	○	○	○	a: 現代社会の健康水準や健康のとりえ方について理解し、健康問題について課題を解決しようと意欲的に取り組んでいる。 b: 自己や家族の生活習慣の問題点に気づき、改善しようとしている。 d: 個人の行動と社会の活動が私たちの健康とどうかかわっているか理解している。食事・運動・休養や睡眠・喫煙・飲酒などの生活習慣を適切なものにしていく必要性や、医薬品の使用、薬物乱用と健康、感染症の予防などの問題について理解している。	・授業への取り組み ・小テスト ・試験				
				健康のとりえ方と成り立ち	○	○	○						
				健康に関する意志決定や行動選択	○	○	○						
				健康に関する環境づくり	○	○	○						
前期		11	健康の保持増進と疾病の予防	生活習慣病と日常の生活行動	○	○	○		・授業への取り組み ・試験				
				喫煙、飲酒と健康	○	○	○						
				薬物乱用と健康	○	○	○						
				感染症とその予防	○	○	○						
後期	現代社会と健康	6	精神の健康	欲求と適応機制	○	○	○	a: 現代社会の健康水準や健康のとりえ方について理解し、健康問題について課題を解決しようと意欲的に取り組んでいる。 b: ストレスの存在に気づき、適切なストレスの対処法を考え行動できる。交通事故の悲惨さを理解し、運転者・歩行者の立場で交通環境や運転状況を考えている。 d: 心の働きと健康とのかかわり、ストレスへの対処、自己実現について理解している。わが国の交通事故の現状を把握し、事故の原因と対策、および交通社会で必要とされる資質と責任について理解している。応急手当の手順や方法について理解している。	・授業への取り組み ・試験 ・発表 ・レポート				
				心身の相関	○	○	○						
				ストレスへの対処	○	○	○						
				自己実現	○	○	○						
		5	交通安全	交通事故の現状	○	○	○						
				交通社会に必要な資質と責任	○	○	○						
				安全な社会づくり	○	○	○						
		5	応急手当	応急手当の意義	○	○	○						
	日常的な応急手当			○	○	○							
	心肺蘇生法			○	○	○							
	合計時数(55分授業)		32										

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・音楽 I	学年	第1学年	教科書	教育出版「高校音楽 I 改訂版 Music View」
		単位数	2単位	副教材	教育芸術社「3訂版 高校生のための音楽研究ノート」

**学習目標**  
音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

**学習方法**  
○技能の習得は短時間にできるものではありません。授業時間を無駄にせず、焦らずあきらめずに練習しましょう。  
○楽譜に関する理解や鑑賞は演奏と深く結び付いています。真摯に取り組みましょう。  
○他の生徒の演奏を聴いたり、自分の演奏を聴いてもらったりしながら、表現方法を学んでいきましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
b	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	
c	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	
d	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前期	A 表現	16	(1)歌唱	独唱 伊・独・英語ほか	○	○	○		a:独唱や二重唱に興味を持ち、発声・発音練習等にも積極的に取り組んでいる。 b:楽曲の形式や音楽的な特徴を理解し、それらの働きを感じながら、表現を工夫している。 c:楽曲のジャンルや表現形態に応じた歌唱方法を身に付けている。	・授業への 取り組み ・実技テスト	
		8		二重唱	○	○	○			・授業への 取り組み ・演奏発表兼実 技テスト ・相互評価	
		6	(3)創作	楽典	○		○		a:楽譜に興味を示し、楽典をただしく理解しようと努めている。 c:学んだ知識を実際の楽曲に生かしている。	・授業への 取り組み ・小テスト	
	B 鑑賞	2	(4)鑑賞	器楽・声楽曲				○	d:声や楽器の特性を理解して、主体的に曲を聴こうとする態度ができている。 楽曲の形式を理解し、分析的に聴こうとしている。	・授業への 取り組み ・提出物	
後期	A 表現	8	(1)歌唱	合唱	○	○	○		a:合唱に興味を持ち、主体的に練習に取り組んでいる。 b:楽曲の構成や音楽的な特徴を理解しながら、皆と表現しようとしている。 c:合唱の歌唱技術を身に付けている。	・授業への 取り組み ・実技テスト	
		12	(2)器楽	箏曲二重奏	○	○	○		a:箏曲に興味関心を持ち、楽器や道具の扱いに注意しながら積極的に取り組んでいる。 b:日本音楽の特徴の理解に努め、和の雰囲気味わいながら、自らの技能にあった演奏表現を工夫している。 c:音色と表現の関係を理解し、正しい技術を身に付けている。	・授業への 取り組み ・実技テスト	
		5		ポ・ディ・パーカッション	○	○	○		a:リズム表現に興味を持ち、主体的にグループ活動や練習に取り組んでいる。 b:楽曲の構成や音楽的な特徴を理解し、それらの働きを感じながら、自身の表現を工夫している。 c:リズムアンサンブルの表現技術を身に付けている。	・授業への 取り組み ・演奏発表兼 実技テスト ・相互評価	
		5	(3)創作	楽典	○		○		a:楽譜に興味を示し、楽典をただしく理解しようと努めている。 c:学んだ知識を実際の楽曲に生かしている。	・授業への 取り組み ・小テスト	
	B 鑑賞	2	(4)鑑賞	音楽と劇 (ミュージカル)	○			○	a:物語や表現方法に興味を持ち、その良さを感じながら鑑賞している。 d:作品の構成や音楽的特徴と表現上の効果とのかかわりを理解している。	・授業への 取り組み ・提出物	
合計時数(55分授業)		64									

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・美術 I	学年	第1学年	教科書	日本文教出版社「高校生美術1」
		単位数	2単位	副教材	

**学習目標**  
内外における美術の幅広い活動を通して国際的な感覚を身に付け、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性を高める。より専門的な芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化への理解を深め、豊かな情操を養う。

**学習方法**  
○授業は実技中心に行い、基礎的な美術の力を養うため、絵画、デザイン、色彩演習等の平面作品を主に制作し、生徒ひとり一人の進捗を観察しながら、じっくりと技術力と表現力の向上を目指します。  
○作品づくりを通して、自らの存在と高校生としての自覚を持って感性豊かな表現力を身に付けていきます。  
○生徒相互の作品を鑑賞し合い、客観的なものの見方を養うだけでなく、幅広い芸術文化への興味関心を持ち理解を深めましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	
b	発想や構想の能力	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。		
c	創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表している。		
d	鑑賞の能力	美術作品の表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	オリエンテーション 表現・鑑賞	12	デザイン (色彩構成)	・平面色彩表現 ・色彩理論とデザイン	○	○	○	○	ad中学校までに学んだ美術科目の知識と技術を確認しつつ、高等学校美術科目の方向性と目標について説明し、美術科目への客観的な理解を深める。bc全員に同じ条件に基づいた課題として色彩構成を制作する。美術における基礎的な構成力や表現力に加え、色彩について理解しようと工夫と努力が見られる。	授業への取り組みと活動観察 提出作品 ワークシート レポート課題
		20	絵画・映像 (自画像 淡彩着彩) 鑑賞 夏休み課題 (美術館についての調べ学習)	・絵画技法を学ぶ(デッサン・着彩)・ 絵画と写真の違いを学び、自画像を描き、表現方法を考察する	○	○	○	○	aモチーフから発想する画面構成、素材の特徴と色彩を取り入れた作品を考えようと努力している。 b発想から計画、制作のプロセスを観察し、感性豊かな表現に結びついており達成感を味わっている。 c構成バランスを工夫している。 dグループで協力し合って作品づくりに努めている。	
後期	表現・鑑賞	22	絵画 ・デザイン	・切り絵(白黒のバランスと構成力)	○	○	○	○	a物語の一場面をテーマに基づいた画面構成、切り絵の特徴と色彩を取り入れた作品を考えようと努力している。 b発想から計画、制作のプロセスを観察し、感性豊かな表現に結びついており達成感を味わっている。 c構成バランスを工夫している。 dお互い作品を鑑賞し、アドバイス等のコメントをしている。	授業への取り組みと活動観察 提出作品 アイディアスケッチ 鑑賞シート
		10	塑像 芸術週間 作品鑑賞	・模刻(食品サンプル)	○	○	○	○	a身近なものをじっくり観察し、様々な形態や質感を発見できる力を身に付けている。 b素材の特徴を理解し、本物そっくり再現できるよう表現を試行錯誤し、創作に生かしている。 c本物に近づけるような様々な技法を駆使し、丁寧に表現している。 d他人の作品の良さや価値を見出し、共感できる姿勢が見られる。	
合計時数(55分授業)		64								

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・書道 I	学年	第1学年	教科書	光村図書出版「書 I」
		単位数	2単位	副教材	

**学習目標**  
書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を養うとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

**学習方法**  
○表現では実技を中心に基礎・基本となる学習をします。丁寧な学習を心がけましょう。  
○鑑賞では文字や書の伝統と文化について理解したり、作品の表現の根拠を考えたりします。多くの視点で考えましょう。  
○生徒同士での話し合いや考えを発表することもあります。積極的に取り組みましょう。

学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	a	書への関心・意欲・態度
b	書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
c	創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、効果的な表現の技能を身に付け表している。
d	鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	表現・鑑賞	20	漢字の書	姿勢・執筆	○			○	a: 用具・用材の知識や扱いを理解するとともに、楷書の表現に興味を持ち書写能力の向上に努めている。 b: 楷書の書の美に対する感性を働かせて、普遍性のある表現を工夫している。 c: 楷書の基本的な点画や線質の表し方を理解し、創造的な書表現をするための基本事項を身に付けている。 d: 鑑賞と表現は相互に関連していることを理解している。	・授業への取り組み ・ワークシート ・提出作品
				楷書の学習	○	○	○	○		
前期	表現・鑑賞	12	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じり書の学習(半紙創作・うちわに文字を書く)	○	○	○	○	a: 書の魅力や身の回りの書に興味・関心を持っている。 b: 目的や用途に即した形式と書き方を判断し、用具用材、全体構成などについて工夫している。 c: 実用的な表現や芸術的な表現を理解し、漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け表している。 d: 社会の中での書の役割を知り、書の効用を理解している。	・授業への取り組み ・ワークシート ・提出作品
				暮らしの中の書	○	○	○	○		
後期	表現・鑑賞	14	漢字の書	行書の学習	○	○	○	○	a: 行書の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 b: 行書の構成や変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。 c: 行書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d: 書の伝統と文化について幅広く理解している。	・授業への取り組み ・ワークシート ・提出作品
				平仮名・変体仮名の学習	○	○	○	○		
				連綿の学習	○	○	○	○		
	後期	鑑賞	5	漢字仮名交じりの書	短冊の制作	○	○	○	○	a: 書の魅力や身の回りの書に興味・関心を持っている。 b: 目的や用途に即した形式と書き方を判断し、用具用材、全体構成などについて工夫している。 c: 実用的な表現や芸術的な表現を理解し、漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付け表している。 d: 社会の中での書の役割を知り、書の効用を理解している。
半切作品の制作					○	○	○	○		
後期	鑑賞	1	鑑賞	芸術週間作品鑑賞	○			○	a: 鑑賞することを楽しみ、書への関心を高めようとしている。 d: 作品の良さや美しさを創造的に味わっている。	・授業への取り組み ・鑑賞カード
合計時数(55分授業)		64								



令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	3
教科書	東京書籍「PROMINENCE English CommunicationⅠ」		副教材	東京書籍「PROMINENCE English CommunicationⅠ WORKBOOK Standard」 旺文社「英単語ターゲット1400」	

CAN-DO リストに基づく学習到達目標とその評価規準・評価方法					
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	(評価方法) コミュニケーション活動への取組の観察				
外国語表現の能力	<p>話すこと</p> <table border="1"> <tr> <td>やり取り</td> <td>発表</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>なじみのある話題や自分のことについて話すことができる。</li> <li>定型表現などを用いながら会話を継続することができる。</li> <li>英語を話すことに抵抗を感じない。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>前もって準備してあれば、聞いたり読んだりしたことや自分自身のこと、身近なことがらなどについて、簡単な英語で話すことができる。</li> <li>聞き手を意識して発表することができる。(アイコンタクトなどの定着)</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>(評価方法) 課題及びスピーキングテスト (年2回)</p>	やり取り	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>なじみのある話題や自分のことについて話すことができる。</li> <li>定型表現などを用いながら会話を継続することができる。</li> <li>英語を話すことに抵抗を感じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前もって準備してあれば、聞いたり読んだりしたことや自分自身のこと、身近なことがらなどについて、簡単な英語で話すことができる。</li> <li>聞き手を意識して発表することができる。(アイコンタクトなどの定着)</li> </ul>
	やり取り	発表			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>なじみのある話題や自分のことについて話すことができる。</li> <li>定型表現などを用いながら会話を継続することができる。</li> <li>英語を話すことに抵抗を感じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前もって準備してあれば、聞いたり読んだりしたことや自分自身のこと、身近なことがらなどについて、簡単な英語で話すことができる。</li> <li>聞き手を意識して発表することができる。(アイコンタクトなどの定着)</li> </ul>			
	<p>書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※<u>枠組み</u>や<u>補助</u>があれば、聞いたり読んだりしたことや身近なことがらについて、まとまりのある英文を書くことができる。</li> <li>※<u>枠組み</u>や<u>補助</u>とは、理由の述べ方やパラグラフ・ライティングなど、ライティングの基本的な型を指す。</li> <li>英文を書くことに抵抗を感じない。</li> </ul> <p>(評価方法) 課題及びライティングテスト (ライティングテストは年1回)</p>				
<p>聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身や家族の情報、買い物、地元の地域、学校などの身近なことについて、聞き取ることができる。</li> </ul> <p>(評価方法) 課題及び定期テスト・小テスト</p>					
<p>読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習を目的に書かれた短めの英文を読んで、その概要や要点を読み取ることができる。</li> <li>文の構造や意味を正しく理解することができる。</li> </ul> <p>(評価方法) 課題及び定期テスト・小テスト</p>					
言語や文化についての知識・理解	(評価方法) 課題及び定期テスト・小テスト				

科目	コミュニケーション英語 I	学期	前	時数 (55分授業)	48	単元	Lesson 1～5			
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法			
							定期テスト 小テスト	パフォーマンス テスト	課題	
Lesson 1	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。									
	(評価方法：活動の観察)									
	外国語理解 の能力	L: "We are Together" に関するインタビュアーを聞いて、概要やキーワードを聞き取ることができる。						○		
	外国語表現 の能力	R: S: "We are Together" について身近な日本文化を取り上げ、簡単な紹介ができる。						○	○	
	言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。	W:						○		
Lesson 2	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。									
	(評価方法：活動の観察)									
	外国語理解 の能力	L: R: "Animal Emotions" に関する説明文の概要や要点を読み取ることができる。						○		
	外国語表現 の能力	S: W: "Animal Emotions" について、まとまった量の英文を書くことができる。						○		○
	言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。							○		
Lesson 3	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。									
	(評価方法：活動の観察)									
	外国語理解 の能力	L: 文化の再生に関する説明文を聞いて、概要やキーワードを聞き取ることができる。						○		
	外国語表現	R: S: 文化の再生について、簡単な紹介ができる。						○		○
								○		

	の能力	W :			
	言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。				○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度；ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
	(評価方法：活動の観察)				
Lesson 4	外国語理解の能力	L :			
		R :	環境問題に関する説明文の概要や要点を読み取ることができる。		○
	外国語表現の能力	S :			
		W :	まとまった量の英文で環境問題の紹介ができる。		○
	言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。				○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度；ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。				
	(評価方法：活動の観察)				
Lesson 5	外国語理解の能力	L :	葛飾北斎に関する説明文を聞いて、概要やキーワードを聞き取ることができる。		○
		R :			
	外国語表現の能力	S :	葛飾北斎の簡単な紹介ができる。		○
		W :			○
	言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。				○
備考	授業中に、リスニングテストを随時行います。また、英作文を課題として提出します。パフォーマンステストを3回実施します。パフォーマンステストの詳細や評価方法は授業の中で連絡します。				

科目	コミュニケーション英語 I	学期	後	時数 (55分授業)	48	単元	Lesson 6～10		
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法		
	定期テスト 小テスト	パフォーマンス テスト	課題						
Lesson 6	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。								
	(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力							○	
	外国語表現 の能力							○	○
言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。									
Lesson 7	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。								
	(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力							○	
	外国語表現 の能力							○	○
言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。									
Lesson 8	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。								
	(評価方法：活動の観察)								
	外国語理解 の能力							○	
	外国語表現 の能力							○	○
言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。									

	言語や文化に関する知識・理解：使われている言葉の意味や働きを理解している。			○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 (評価方法：活動の観察)			
Lesson 9	外国語理解 の能力	L: R: パラリンピックに関する物語の概要や要点を読み取ることができる。		○
	外国語表現 の能力	S: W: まとまった量の英文で、パラリンピックについて表現することができる。		○
	言語や文化に関する知識・理解	使われている言葉の意味や働きを理解している。		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 (評価方法：活動の観察)		
Lesson 10	外国語理解 の能力	L: 都市計画に関する説明文を聞いて、概要やキーワードを聞き取ることができる。		○
	外国語表現 の能力	R: S: 市民活動に関して自分の意見を表明できる。		○
	言語や文化に関する知識・理解	使われている言葉の意味や働きを理解している。		○
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワークにおいて積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 (評価方法：活動の観察)		
備考	授業中に、リスニングテストを随時行います。また、英作文を課題として提出します。パフォーミングテストを1回、スピーキングテストを3回実施します。パフォーミングテストの詳細や評価方法は授業の中で連絡します。			

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科	外国語	科目	英語表現 I	単位数	2
教科書	啓林館「Vision Quest English Expression I Advanced」		副教材	いいずな書店「総合英語 Evergreen」 いいずな書店「総合英語 Evergreen English Grammar 27 Lessons updated」	

CAN-DO リストに基づく学習到達目標とその評価規準・評価方法					
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	(評価方法) コミュニケーション活動、授業内アクティビティへの取り組みの観察および提出物による。				
外国語表現 の能力	<p style="text-align: center;">話すこと</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">やり取り</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">発表</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に英語を話すことができる。</li> <li>・ 定型表現などを用いながら会話を継続することができる。</li> <li>・ なじみのある話題や自分のことについて話すことができる。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前もって準備してあれば、聞いたり読んだりしたことや自分自身のこと、身近な事柄等について、簡単な英語で話すことができる。</li> <li>・ 聞き手を意識して発表ができる。(アイコンタクトなどの定着)</li> </ul> </td> </tr> </table>	やり取り	発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に英語を話すことができる。</li> <li>・ 定型表現などを用いながら会話を継続することができる。</li> <li>・ なじみのある話題や自分のことについて話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前もって準備してあれば、聞いたり読んだりしたことや自分自身のこと、身近な事柄等について、簡単な英語で話すことができる。</li> <li>・ 聞き手を意識して発表ができる。(アイコンタクトなどの定着)</li> </ul>
	やり取り	発表			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に英語を話すことができる。</li> <li>・ 定型表現などを用いながら会話を継続することができる。</li> <li>・ なじみのある話題や自分のことについて話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前もって準備してあれば、聞いたり読んだりしたことや自分自身のこと、身近な事柄等について、簡単な英語で話すことができる。</li> <li>・ 聞き手を意識して発表ができる。(アイコンタクトなどの定着)</li> </ul>			
	(評価方法) 定期テスト、パフォーマンステスト (年2回)				
書くこと					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に英語を書くことができる。</li> </ul> ※ <u>枠組み</u> や <u>補助</u> があれば、聞いたり読んだりしたことや身近なことからについて、まとまりのある英文を書くことができる。 ※ <u>枠組み</u> や <u>補助</u> とは理由の述べ方やパラグラフライティングなど、ライティングの基本的な型を指す。					
(評価方法) 定期テスト、小テスト、課題					
外国語理解 の能力	聞くこと				
	(評価方法)				
	読むこと				
	(評価方法)				
言語や文化についての 知識・理解	(評価方法) 定期テスト、小テスト、課題				

科目	英語表現 I	学期	前	時数 (55分授業)	3 2	単元	啓林館「Vision Quest English Expression I Advanced」		
単元名	単元の評価規準 (学習到達目標)						評価方法		
	定期テスト 小テスト	パフォーマン テスト	課題						
Lesson1 ~ Lesson2	コミュニケーションへの関心・意欲・態度：周囲の人、教科書で扱う題材に関心をもち、積極的に言語活動を行う。 (評価方法：授業内の取り組み、提出物)								
Lesson3 ~ Lesson4	外国語理解 の能力	L:							
		R:							
	外国語表現 の能力	S: 文型を使い分けて、正しく話すことができる。					○		
		W: 文型の用法を理解し、それぞれの場面で使い分けて、表現することができる					○	○	
言語や文化に関する知識・理解：言語材料について正しく理解し、運用することができる。									
コミュニケーションへの関心・意欲・態度：周囲の人、教科書で扱う題材に関心をもち、積極的に言語活動を行う。 (評価方法：授業内の取り組み、提出物)									
Lesson5 ~ Lesson6	外国語理解 の能力	L:							
		R:							
	外国語表現 の能力	S: 助動詞・受動態を使い分けて、正しい英文を話すことができる。					○		
		W: 助動詞・受動態の用法を理解し、場面に応じて、必要な表現を用いることができる。					○	○	
言語や文化に関する知識・理解：言語材料について正しく理解し、運用することができる。									
コミュニケーションへの関心・意欲・態度：周囲の人、教科書で扱う題材に関心をもち、積極的に言語活動を行う。 (評価方法：授業内の取り組み、提出物)									

備考	<p>パフォーマンステストとして、ライティングテストを1回、スピーキングテストを1回実施します。パフォーマンステストの詳細や評価方法は授業の中で連絡します。</p> <p>また、夏休みの課題として、既習事項の演習問題を解きます。</p>
----	--

科目	英語表現 I	学期	後	時数 (55分授業)	3 2	単元	啓林館「Vision Quest English Expression I Advanced」		
							定期テスト	パフォーマンス	課題
単元の評価規準 (学習到達目標)							評価方法		
<p>コミュニケーションへの関心・意欲・態度：周囲の人、教科書で扱う題材に関心をもち、積極的に言語活動を行う。 (評価方法：授業内の取り組み、提出物)</p>									
Lesson7 ～ Lesson9	<p>外国語理解の能力</p> <p>外国語表現の能力</p> <p>言語や文化に関する知識・理解：言語材料について正しく理解し、運用することができる。</p>								
<p>コミュニケーションへの関心・意欲・態度：周囲の人、教科書で扱う題材に関心をもち、積極的に言語活動を行う。 (評価方法：授業内の取り組み、提出物)</p>									
Lesson10	<p>外国語理解の能力</p> <p>外国語表現の能力</p> <p>言語や文化に関する知識・理解：言語材料について正しく理解し、運用することができる。</p>								
Lesson11 ～ Lesson12	<p>外国語理解の能力</p> <p>外国語表現の能力</p> <p>言語や文化に関する知識・理解：言語材料について正しく理解し、運用することができる。</p>								



	の能力	W：比較・仮定法の様々な表現を使い分けて、適切な英文を書くことができる。			○
備考	<p>言語や文化に関する知識・理解：言語材料について正しく理解し、運用することができる。</p> <p>パフォーマンステストとして、ライティングテストを1回、スピーキングテストを1回実施します。パフォーマンステストの詳細や評価方法は授業の中で連絡します。</p> <p>また、冬休み、入試期間中の課題として既習事項に関わる問題演習を行います。</p>				

令和3年度 横浜平沼高等学校 年間指導計画

教科・科目	総合的な探究の時間(SL)	学年	第1学年	教科書	
		単位数	1単位	副教材	課題研究メソッド(啓林館) 校史教育冊子(自主教材)

**学習目標**  
 自らの興味関心に基づき、テーマを探し出す力を養います。また、テーマに基づいて目標を設定し、学習を進める方法を学びます。さらに、学習の成果をレポート・発表として表現する力、自己の生き方・在り方を考えることができる力を身に付けます。

**学習方法**  
 ○講演を聞いたり、大学研究を行ったりすることで、グローバル社会の自己の生き方・在り方を考えます。  
 ○課題研究を行うことで、自らの興味関心に基いたテーマを探し出します。  
 ○以上の2つから学習を進める方法を学び、その成果を発表することにより、他者に伝えることや、他者への理解を深めましょう。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	知識・技能	探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、グローバル社会に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。
b	思考・判断・表現	諸問題と自己との関わりから問いを見い出し、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。	
c	主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法	
					a	b	c			
通年	総合的な探究の時間	1	自己探究	ガイダンス(情報収集の方法)	○		○	a:探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、グローバル社会に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 b:諸問題と自己との関わりから問いを見い出し、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 c:探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。	授業への取り組み ワークシート	
		1		校史教育	○					
		4		スタディサポート キャリアサポート		○	○			
		8		講演会(薬物・人権・先輩セミナー・思春期・携帯電話)	○	○				
		6	グローバル教育 オンライン 海外学校交流 他	○	○	○	a:探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、グローバル社会に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 b:諸問題と自己との関わりから問いを見い出し、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 c:探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。			授業への取り組み レポート 感想文 報告書
		12	課題研究	○	○					
			課題研究				a:探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身に付け、グローバル社会に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 b:諸問題と自己との関わりから問いを見い出し、自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 c:探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付けている。	授業への取り組み 模造紙等 評価シート 報告書		
			発表		○	○				
合計時数(55分授業)		32								